

おおだて 市立総合病院・市立扇田病院

病院だより

第24号

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなく広報誌です

2018.4

No.24

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男
編集：大館市立総合病院 広報委員会
住所：大館市豊町3-1（総合）
大館市比内町扇田字本道端7-1（扇田）
電話：0186-42-5370（総合） 0186-55-1255（扇田）
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>（総合）
<http://www.oogita-hp.jp>（扇田）



この春、研修医が大きく羽ばたきます。

総合病院での2年間の研修を修了しました。今後はそれぞれの専門分野へと進んでいきます。研修にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました！



市立総合病院 院長
よし ほん しゅう いち
吉 原 秀 一

長い冬も終わり春らしくなってきた新年を迎え、7名の研修医が当院で皆様に見守られながら2年間の臨床研修を終え卒業するとともに8名の新人研修医が当院で研修を始めます。研修医たちも地域に向かって交流を深めてまいりますので温かく迎えていただければと思います。昨年度より当病院の基本方針に地域を担う「人材の育成」という項目を加え、地域を守る大きな柱として研修医のみならず良き医療人の教育、確保を進めてまいりました。また、昨年度は日本病院機能評価と卒後臨床研修評価の2つの認定を更新し病院機能と研修機能の充実を図りました。これら機能評価取得には多くの費用と労力を必要とする一方、直接の病院収入には結びつきません。しかし、評価を受けることで自ら行っている医療が正しいかどうかを確認し、修正・改善を図ることで、医療をする側には自信を、地域住民には安心・安全を提供できるようなりその効果は金額では表せない大きな収穫と考えます。受審の結果、病院機能評価では県内トップレベルの評価を受けました。

職員ともども大きな自信となりますが改善すべき事柄はまだ多くさらに高いレベルでの機能の充実を果たし、地域の医療に貢献していきたいと考えております。



市立扇田病院 院長
おお ほと なお き
大 本 直 樹

4月号の巻頭あいさつを書いた際に「また新しい1年が始まるのだな」という思いを強くします。昨年度は外来診療費の着服問題で大変なご心配をおかけしたこと、心からお詫び申し上げます。「しっかりとした医療を提供していくこと」が信頼回復に向けて大切と認識し、心をこめて診療に取り組んでまいります。

長年診療を支えてくださった麓先生が退職して4月から非常勤医師となりました。当院のドックが好評をいただいていたのは、先生の卓越した内視鏡技術や人柄のおかげであり、大変残念ですが、スタッフ一同が力を合わせて今後もドックを継続してまいります。健診の受け入れ人数や内視鏡検査の制限など、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

県からは新たに自治医大卒業後3年目の佐藤祐平先生を派遣していただくことになり、常勤医師5人体制は維持されます。佐藤先生は秋田厚生医療センターでの2年間の初期研修を終了し、内科専門医を目指して研鑽を積んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

内視鏡フィルム代誤徴収の自己負担金の返還について

総合病院における内視鏡フィルム代誤徴収について、患者さまをはじめ、市民の皆さまに多大なるご迷惑、ご心配をおかけしていることを深くお詫び申し上げます。

平成20年1月分から28年11月分につきまして、該当する検査を実施した患者さま全てに返還金に関する通知を発送しておりますので、返還手続きをまだ終えていないかたは、所定の用紙に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒で医事課宛てにご提出くださるようお願いいたします。

ご不明な点に関しましては、下記連絡先までお問い合わせくださるようお願いいたします。

問 医事課 ☎0186-42-5370
(内線5221、5222)

糖尿病患者会《桂糖会》 会員募集

総合病院では糖尿病患者さんの会「桂糖会」があります。内分泌・代謝・神経内科の医師による講話や、管理栄養士の食事教室、患者さん同士の交流を通して、一緒に糖尿病について学んでみませんか？

募集期間 毎年5～6月。栄養科または内分泌・代謝・神経内科外来受付。

年会費 3,000円
(情報誌「さかえ」の配布あり)

活動内容 ●院内教室2回(講話、食事会)
●院外教室1回(講話、食事会、手芸教室等)

お問い合わせは、栄養科までお願いします。

病院機能評価を更新しました

公益財団法人日本医療機能評価機構が行う病院機能評価は、自院の理念達成や、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを効率的に提供するために、基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうか評価する仕組みです。また、この病院機能評価には認定期間が定められており、継続して認定を受けることにより、医療環境の変化に対応しながら、病院機能の改善を図ることにもつながるものです。

総合病院では、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスの提供を行うため、平成24年度に初めて病院機能評価を受審し、平成29年度までの認定を受けました。

その認定期限である平成29年度は、病院の基本理念にある「患者さんが安心と満足を得られる医療の展開」に基づき、より一層の病院機能の充実と医療の質の向上を図るため、認定の更新を目指し

昨年8月に病院機能評価を再び受審しました。

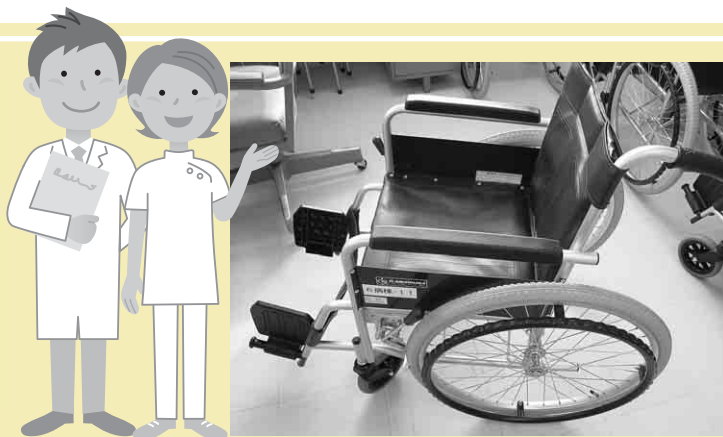
その結果、日本医療機能評価機構より「病院理念の実践を目指し、医療の質の向上や良好な療養環境の整備に努める職員の姿や取り組みを随所に拝見することができた」との評価を受け、認定水準を満たしていること認められたことから、今年1月に認定が更新されました。

今後も総合病院は、認定にふさわしい病院であり続けるため、機能の維持、向上に努めるとともに、質の高い医療サービスを提供してまいります。



車いすをいただきました

昨年度、患者さんのご家族より、15台の車いすが寄贈されました。総合病院、扇田病院で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。





「患者さんの声」より

総合病院に寄せられたご意見を紹介していきます。

面会時間を守らない人に困っています

入院中ですが、同室の患者さんが消灯後にTVを見たり灯りを付けたり、携帯をマナーモードにしないため着信音がうるさいです。また、面会時間外に面会客がやってきて長居されると、安静に出来ません。病棟職員も容認しているように見えます。入院時に厳しく指導してほしいです。

病院から

入院時の注意については、必ず患者さんへ説明しご協力をお願いしているところですが、残念ながら一部守られていないかたもいらっしゃるようです。

職員はそのような行為を確認した時、容認せずに他の患者さんの迷惑にならないようご協力いただくようお願いしていますが、引き続きルールの遵守についてご理解いただくよう努めてまいります。

病棟職員の対応について

入院見舞いに来たところ、病棟職員が目上の患者さんに対してとても失礼な接し方をしているのを目の当たりにしました。聞いていてとても嫌でしたし、ご本人や親族のかたも心が痛んだと思われます。

病院から

このたびは職員が患者さんに対し、大変失礼な言葉や態度で対応したことを深くお詫びいたします。患者さんは懸命に治療をされており、それを支えているご家族に対しても、本来安心感を与えるべき職員が、反対に不快、不安を抱かせてしまいました。患者さんやご家族のことを思うと、胸が痛みます。

今後このようなことがないように、職員への接遇教育へ力を注ぎ、ご家族、地域の皆さんに信頼と安心を与える病棟を目指してまいります。

無事に出産しました

お産はとても不安でしたが、助産師の方々の声がとても心強かったです。産後も授乳などで悩んだ時とても親身になっていただき、本当にありがとうございました。一所懸命な学生さんと関わったこともよかったです。

病院から

このたびは出産おめでとうございます。

助産師は、妊婦さんや生まれてくる赤ちゃん、ご家族が安心して出産や育児に臨むことができるよう寄り添い、支援していくことを目指しています。

また、当院は実習病院であり、将来医療をになう人材の育成に取り組んでおります。臨床実習は、妊婦さんのご理解、ご協力があって出来ることですので、指導助産師及び助産師学生に代わって感謝申し上げます。

お子さんの健やかな成長と、ご家族の健康を祈念するとともに、ご意見を励みに介助の向上に努めてまいります。

研修医の立ち会いについて

診察時、担当医以外に研修医が立ち会っていましたが、事前に一言断りがあった方がいいのではないのでしょうか。

病院から

当院では、学生の実習生は事前に説明し承諾を得ていますが、研修医は名札を付けて医師であるということを明らかにしております。

また、当院は臨床研修病院のため、指導医の指導のもと臨床研修医が診察を行ったり、診察に立ち会う場合があります。医師の育成のため、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

駐車場の白線について

駐車場の白線の幅が狭いため、苦勞します。台数の問題もあるでしょうが、高齢者も多いのでトラブル防止の観点からも考慮していただきたいです。

病院から

雪解け後、白線を引き直す予定ですが、敷地には限りがあります。

なるべく多くの患者さんに停めていただけるように、また安全面も考慮した区画とする予定ですので、なにとぞご理解くださるようお願いいたします。

看護師の顔写真を掲示して下さい

いつもお世話になっている看護師さんの顔と名前が一致せず時々困ることがあります。出来れば家族控室付近に、顔写真に名前を付けて掲示していただけないでしょうか。(病棟設置の投書箱より)

病院から

当院では以前、個人のネームプレートに顔写真を載せていましたが、職員がトラブルに巻き込まれるなどの危険性を考え、とりやめた経緯があります。

今回のご要望についても、このような理由から掲示をすることは難しいと考えております。なにとぞご理解くださるようお願いいたします。

ご意見をいただきありがとうございました。

紹介 します

神経精神科リハビリテーション室



神経精神科リハビリテーション室では、精神科デイケア・精神保健相談・心理療法・精神科作業療法のそれぞれの部門に、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士、看護師を配置し、精神疾患のあるかたに対して様々なサポートを行っています。

精神科デイケアは、利用されるかたが、社会参加、社会復帰、復学、就労などを目的に様々なグループ活動を行う通所施設です。スポーツ、創作活動、料理実習、ミーティングなど様々なプログラムを通して、仲間づくりや自信の獲得を目指します。

精神保健相談では、患者さんが適切な社会福祉サービスが受けられるように支援したり、退院・転院

支援、精神科訪問看護などを行います。

心理療法では、心理検査やカウンセリングを行い、患者さんの心に寄り添います。

精神科作業療法は、精神科病棟に入院している患者さんを対象に行われます。生活に関連した様々な作業活動を個別あるいは集団の中で利用することで、精神機能・対人関係能力・作業能力などの改善・向上を図り、その人にとっての「より良い生活」が送れるように援助します。

精神科デイケアは、他院に通院中の方でも利用することが出来ます。見学も随時受け付けておりますので、まずはお気軽にお問合せください。☎0186-42-5370(代表)

救急搬送輪番制を導入しました



3月から、大館市の救急搬送体制に「輪番制」を部分的に導入しています。

これは、大館市内において外傷などの整形外科領域を担当する二次救急対応医療機関が、総合病院と労災病院のみの状況の中、両病院が期待される機能を充分生かし、市民の皆さんに適切な医療を迅速に提供するため導入したものです。

具体的な実施内容

- 対象：大館市内における整形外科領域の救急搬送
- 導入日：平成30年3月1日
- 搬送先：月、水、金、日曜日・・・市立総合病院
火、木、土曜日・・・秋田労災病院
- 担当時間：朝8時30分から翌朝8時30分まで
- 例外：多発外傷や頭部外傷を伴い意識障害があるものは総合病院へ直接搬送します。

地域における医師不足、偏在が深刻となる中で、救急医療体制を維持・向上させるためには、医療機関の機能・特性を活かして効果的に連携を図ることが重要です。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

(☎ 総合病院 地域連携室)



扇田病院です!

訪問看護についてのアンケート調査を行いました

扇田病院では、これまで地域に根差した医療を提供するため、地域密着型の病院として在宅医療の充実に努めてきました。それは平成28年度に策定した新たな病院事業経営改革プランにも継続して盛り込まれ、訪問看護については、外来診療室に訪問看護職員を配置し、平日、利用者のお宅へ伺っています。

当院では、さらなる充実を図るために、訪問看護の利用者、介護者(※)を対象に、平成29年8月1日から9月11日までの間、アンケート調査を実施しました。その結果の概要をお知らせします。

アンケート内容は、主に(1)利用者と介護者について、(2)訪問看護師の接遇と仕事内容への評価、(3)今後要望する訪問看護の内容についての3点でした。

※アンケート対象の介護者は主にご家族であり、介護事業者は含まれません。

(1) 利用者と介護者について

当院の訪問看護の利用期間及び利用者に対する介護期間は共に2年以上が多く、介護の始まりと前後して、訪問看護を利用しています。介護者の年齢は、60歳代以上が7割を超え、老老介護の現状が垣間見えます。

(2) 訪問看護師の接遇、仕事内容への評価

身体状態の説明の有無、頻度及び分かりやすさ等の4項目では、高い評価を得ており、訪問看護師とケアマネージャー並びに介護施設との情報共有でも、概ね「できている」と評価されました。

(3) 今後要望する訪問看護の内容について

利用者と介護者の両者において、訪問看護の利用が病気に対する不安を軽減し、介護の軽減にも繋がっていることがわかりましたが、その上で今後要望する訪問看護の内容はおよそ次のとおりでした。

- ①訪問看護師への直接連絡
- ②休日、夜間の訪問
- ③訪問回数や滞在時間の増
- ④在宅看取りの実施

今回の調査結果から、利用者、介護者の精神的な支えであるためには、会話のキャッチボールが重要であることが再確認できました。

また、要望として挙げられた「在宅看取り」は、昨年度1件実施しました。今後も継続できるよう、「在宅・看取りプロジェクト」を立ち上げ、現在マニュアル作成に取り組んでいます。そのほかの要望についても検討し、より安心できる訪問看護に取り組んでいきます。

なお、アンケート調査結果の詳細は、扇田病院ホームページに掲載しております。

(アドレス:<http://www.oogita-hp.jp/>)



①在宅酸素利用者には、状態を見ながら、血中酸素濃度の計測なども行います。



②介護者と日々の身体の状態を確認したり、介護方法を相談したりします。

ドック・健診のお知らせ

扇田病院では、健診の申込みを4月4日から開始しますが、**内視鏡検査において、1日の実施件数を変更しました。**

肺がんCT検診/簡易脳ドック

随時受付中です

早期発見に有効な

『肺がんCT検診』…7,560円(税込)

『簡易脳ドック』…21,600円(税込)

お問合せとご予約は、扇田病院健診担当まで ☎0186-55-1255

外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

～総合病院～

受付時間	新患 午前 8:30～11:00	再来 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考		
呼吸器・循環器内科	新患	9:30まで	9:30まで	休診	休診	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。現在、呼吸器内科の常勤医師が不在のため、外来患者の受付を制限しています。受診の際はあらかじめお問い合わせください。		
	再来								
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。		
内分泌・代謝神経内科	新患	10:30まで	甲状腺診療	10:30まで	10:30まで	甲状腺診療	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。神経内科は原則として再来予約のみの受付となります。(午後診療) ※1
	再来								
小児科									
神経精神科	新患	予約のみ	予約のみ	休診	休診	休診	新患は原則として紹介状が必要です。		
	再来								
外科									
呼吸器外科	新患	予約のみ	10:00まで	予約のみ	予約のみ	10:00まで			
	再来								
産婦人科									
眼科	新患	9:30まで	9:30まで	9:30まで	9:30まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。		
	再来								
耳鼻咽喉科									
整形外科		10:00まで (火曜日は再来のみ)					新患は原則として紹介状が必要です。専門外来は予約制。		
泌尿器科		予約のみ					新患は原則として紹介状が必要です。		
皮膚科				休診	再来予約のみ		木は再来予約のみの受付となります。		
脳神経外科	新患	10:30まで					新患は原則として紹介状が必要です。		
	再来								
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。		
歯科口腔外科・矯正歯科							新患は原則として紹介状が必要です。		

上記の表は3月中旬の情報をもとに作成していますが、診療体制の変更に伴い受付時間などが変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、変更があった場合はホームページへ掲載いたしますのでそちらをご覧ください。

◎新患はできるだけ紹介状（診療情報提供書）の持参をお願いしています。

◎この表における紹介状とは、医療機関から発行される診療情報提供書のことを指します。

◎新患の患者さんで紹介状を持参されない場合、初診時の保険外併用療養費として、1,620円を負担していただいておりますのでご了承ください。

※1 神経内科の新患は原則受付しておりませんが、受診希望のかたは地域連携室までご相談ください。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
		受付時間 午前8:30～11:00 眼科のみ下記のとおり					
内科・外科		(夕やけ)		(夕やけ)		(夕やけ)	午後：急患のみ 夕やけ診療 (月・水・金) ：午後5:00～6:30 小学生以上のかた
整形外科		休診	休診	休診	休診		
耳鼻咽喉科		休診	休診	休診	休診		
眼科		午前10:00～12:00、午後1:00～2:00 ※原則第1、第3土曜日					詳細は扇田病院ホームページまたは電話でご確認ください。

臨床研修1年目を振り返って

研修医(2年目)
桑田 大輔



右側が筆者

研修医になってから早いものでもう1年が経ちました。働き始めの時は、何をやるのかわからず、失敗ばかりで、医師として仕事をすることがとても難しいことだと感じました。また1つ上の2年目研修医の先輩方は救急外来もほとんど1人でこなし、多くの知識を持っていて、1年後にはこれほど仕事ができるようになるのかと驚きました。1日でも早く2年目の先輩に追いつけるように勉強しなければならぬと思いました。各診療科の研修の中で、指導医の先生方の熱いご指導をいただき、少しずつ知識と経験がついていき、目の前の患者さんにどういう疾患があるかを考えながら、何を検査して、どんな治療をしなければならないのかを1年前よりは考えられるようになったと感じています。大館市立総合病院の職員の方々の優しさのおかげで、この1年間成長できたと思っています。これからも患者さん、病院の役に立てるように、勉強に励んで努力していきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

食事と10 病気予防

食事と運動で
サルコペニア予防

加齢に伴い、**筋肉の質と量が低下してしまうことをサルコペニア**といいます。予防には**食事と運動**が大切です。

サルコペニアチェック ～指輪っかテスト～

ふくらはぎのもっとも太い部分を両手の親指と人差し指で囲みます。

囲めない ちょうど囲める 隙間がある

低 サルコペニアの可能性 高



食事のポイント

◆主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく

- 主 食：米、パン、麺など、エネルギー源となる
- 主 菜：肉、魚、卵、大豆製品など、タンパク質、鉄分を摂れる
- 副 菜：野菜、きのこ、海藻など、ビタミン、ミネラル、食物繊維などを豊富に含む

◆たんぱく質を十分に

年齢を重ねるにつれ、筋肉のもととなるたんぱく質の摂取量が減少します。肉・魚はもちろん、他にも卵や乳製品、納豆などたんぱく質豊富な食品を食事に取り入れましょう。

編集後記

病院の手術場のカンファレンス室から雪景色の山々と雪解けの始まった街並みを眺めながらこの編集後記を書いています。執筆時点では吹雪の日と暖かな日とが交互に訪れ、まさに「三寒四温」といったところですが、三寒四温とは春先の気候を表す言葉と思いついていましたが、元々は中国北東部や朝鮮半島で見られる真冬の気候を表す言葉とのこと。大陸では寒気団であるシベリア高気圧の勢力がほぼ7日の周期で強まったり弱まったりすることにより寒暖が繰り返されます。太平洋高気圧の影響を受ける日本では春先に似たような現象が起きるのですが、外国から伝わってくる言葉や文化を上手に受け入れ、独自のものに変化させていくしなやかに、日本らしさを感じます。

春は出会いと別れの季節でもあります。変化も組織の活性化の重要な要素です。新たな気持ちで今年も頑張っていきたいと思っています。

(編集委員長 重藤 龍比古)